

平成22年度第3回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成22年9月16日（木）午後2時～午後3時30分

2 開催場所 文化会館 3階 中会議室

3 出席者

（委員）

舟田委員長、杉山副委員長、米山委員、小坂委員、和田委員、羽藤委員、宮道委員、中尾委員、工藤真由美委員、宮本委員、工藤宣延委員

（事務局）

教育次長、生涯学習部次長、生涯学習課長、生涯学習課主幹、青少年センター所長、市民スポーツ課長、運動公園スポーツ施設整備課長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、高洲公民館長、中央図書館長、生涯学習課課長補佐、同生涯学習係

4 議題

（1）前回会議内容の確認

（2）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（7件）

（3）報告事項

1）仮称浦安市生涯学習推進計画の策定について

2）浦安スポーツフェア2010開催について

3）第20回東京ベイ浦安シティマラソン大会の開催について

4）浦安市生涯スポーツ健康都市宣言(案)について

5）第65回国民体育大会について

6）浦安市公民館文化祭について

（4）その他

1）浦安市青少年海外派遣選考委員の推薦について

2）葛南地方社会教育連絡協議会研修視察について

3）次回会議日程について

5 議事概要及び会議経過

（1）前回会議内容の確認

平成22年度第2回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）の内容を確認し、了承された。

（2）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（7件）

生涯学習課長より概要を説明し、「スクエアダンスサークルグリート」「UDP」「プリティーベビー」「トロピカルエンジェル」「レッツゴーダンシング」「Angel sky」「AERO KID'S」の認定を承認した。

委員からの質問および意見は、次のとおり。

スクエアダンスサークルグリート

（委員）会の目的をそのまま申請理由として書いている。申請を受けた際に、何のために申請するのかを書いてもらうように、指導してはどうか。

（事務局）申請時に確認するようにする。

UDP

- (委員)「その他」の予算が高額ではないか。もう少し細かい項目にすべきではないか。
- (委員長)事務局に確認してもらおう。
- (委員)地域の活性化と言っているが、結果として前年から会員数も増えていない。5つの家族と7人の会で、身近なところのサークル活動にしか見えない。会員を増やすことも重要なので、認定する時には、会員の増強についての指導もしてほしい。
- (委員長)市民にオープンにしてもらい、なるべく多くの人に参加できるようにしてもらおうことを要望する。
- プリティーベビー・トロピカルエンジェル・レッツゴードンシング・Angel sky・AERO KID'S
- (委員)総会を終えてから出している書類の決算額が誤っていたというのはどういうことか。総会をやっていないのではないか。基本的なコンプライアンスがなっていないことをどう評価するか。次回から、きちんと監査を受けた総会の資料をもらうようにしてはどうか。
- (事務局)規則上は総会を開催するとなっているが、十数人という団体で内情的にはどうなのか。数字の訂正についても会計が間違いを発見して、それを訂正して出しなおしたと考えられる。なぜ数字を間違えたのかを確認してはいないし、総会を実際やっているのかについても、そこまで求めてはいない。毎回、こうした数字の誤りなどご指摘いただいているので、今後はそういうところも精査して気をつけていきたい。
- (委員)会員が子どもで、親が役員というのは組織として成り立つのか。こうした子どもの団体をこれからも認めていくのか。同じ講師が5団体を1人で指導していることは、営利にあたるのではないか。
- (事務局)会費や講師謝礼の金額については、認定のガイドラインで定めた基準に該当するものではないかと考えている。
- (委員)社会教育の概念は幅広く、一概には言えないが、親が集まって子どもが学ぶという活動は今までも認めてきている。そんなに悪いことではない。問題は営利活動になるかどうか。5,100円の謝礼金はそれほど高くはない。保護者がそれでいいと思って講師を依頼している団体である。それ以上は言えないのではないか。
- (委員)お母さんたちに人気の先生なんだと思う。おそらく子どもたちの心をよくつかまえて、楽しい指導をしているのではないか。子どもの年代が上がっていくと、団体が分かれていくというのも分かる。講師料も決して高いものではない。子育て中のお母さんが子どもを通して仲間と集いたいということもある。あまり考えずに、まとめて申請を出してきたのだろう。会計決算もみなさん素人なので、失敗をしたのだろうと同情する。もちろん先生を取り替えるとは言えないし、替えたら潰れるだろう。
- (委員)ひとつの組織として会の運営をするにあたって、わが子が会員でその親が役員となると、便宜を図るような可能性もある。子どもが会員だと、全然関係ない人を役員にすることも難しいとは思いますが、客観視できるような方を監査や会計に1人入れることも、組織として健全に社会に認められるためには必要ではないか。
- (委員)PTAなども、子どもたちを通して親が勉強しあう組織である。

(委員)名簿には子どもの名前しかないが、実際には親が関与しているので、特に問題ないと思う。認定を受けることで会場使用料が安くなった分は会員へフィードバックするよう指導してもらえれば、それで十分ではないか。

(委員長)公的な機関を使っているので、営利目的を疑われるようなことはしないでほしい。会場使用料が安くなった分は、全部保護者に還元してもらい、どんな方でも参加できるような体制にしよう。

(3) 報告事項

1) 仮称浦安市生涯学習推進計画の策定について

生涯学習課長より報告した。

委員からの質問および意見は、次のとおり。

(委員長)具体的なことについては、社会教育委員会議に持ち帰って、皆さんのご意見を伺いたい。

(委員)計画期間が策定から平成31年度までの10年間、策定期間が2年間で、平成23年度の終わりに計画ができるとなると、最初の2年間はどのようなのか。普通は計画ができてから10年とするのではないか。

社会教育委員会議と懇談会が、どういう立場で自分たちがやりたい事や思想をどう計画に反映させるのかが見えない。業者にどの程度まで業務委託をするのか。ほぼ完成品ができたところで、それを社会教育委員会議と懇談会でたたいて、最終の計画書に作り上げるということか。

(事務局)業務委託については、いわゆるまる投げは考えていない。会議の支援や施策の体系を考えるときの助言などの側面支援で、計画自体は職員が書くという考えである。

社会教育委員会議と懇談会の関係については、懇談会では、生涯学習に関する課題について、回ごとにテーマを決めて議論し、意見をいただきたいと考えている。社会教育委員会議の役割は、テーマごとの議論をふまえ、それが計画に反映される段階で素案やたたき台を示し、ご意見を伺うように考えている。

(事務局)計画期間については、既に国が10カ年の基本計画と5カ年の事業計画で構成するとしている。実際には3年5年という形での計画、平成31年までに終了するというところで国とおしまいが合っている。

2) 浦安スポーツフェア2010開催について

市民スポーツ課長より報告した。

3) 第20回東京ベイ浦安シティマラソン大会の開催について

市民スポーツ課長より報告した。

委員からの質問および意見は、次のとおり。

(委員)子どもからも参加費を取るのか。

(事務局)1人当たり4,000円を超える経費がかかる。小中学生にも参加賞としてTシャツを配るなどするので、最低限500円程度は徴収したいということで、参加費を取ることにした。

(委員)その経費が出せないほど、予算がないのか。

(事務局)一部市からの補助金も出ているが、基本的には参加者の受益者負担でと考えている。

(委員)子どもの育成について全国規模で考えられている時に逆行していると思う。子どもだったら市が持ってあげてはどうか。小中学生に受益者負担を求めるのはどうなのか。

(事務局) ご意見は実行委員会に伝える。

(委員) 産経新聞以外の新聞社の後援はないのか。浦安市スポーツ健康都市宣言をするのであれば、いろいろなメディアに取り上げてもらえるのではないか。

(事務局) 浦安市に産経新聞の工場があるということで後援をいただいている。取材については、他の新聞社も来る。

4) 浦安市生涯スポーツ健康都市宣言(案)について
市民スポーツ課長より報告した。

委員からの質問および意見は、次のとおり。

(委員) 宣言をすることによって、どのような違いがあるか。

(事務局) 宣言後は、市民スポーツ課を中心に健康関係の部署とも協議しながら、事業の充実を図っていく。

(委員) 大変よいことだと思う。

5) 第65回国民体育大会について
市民スポーツ課長より報告した。

委員からの質問および意見は、次のとおり。

(委員) ビリヤード競技の会場はあまり広くないが、一般の人も入れるか。

(事務局) 会場は広くはないが、観覧は可能である。

6) 浦安市公民館文化祭について
高洲公民館長より報告した。

(4) その他

1) 浦安市青少年海外派遣選考委員の推薦について
生涯学習課長より説明した。

委員の協議により、中尾委員を推薦することとした。

2) 葛南地方社会教育連絡協議会研修視察について
生涯学習課長より説明した。

3) 次回会議日程について

次回の会議は、平成22年11月18日(木)午後2時から文化会館中会議室で開催する。

以 上